

⑫ 公開実用新案公報(U) 平1-164438

⑤ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 平成1年(1989)11月16日

G 03 B 21/56
H 04 N 5/65
5/74
9/31

Z-8004-2H
7605-5C
C-7605-5C
D-7033-5C

審査請求 未請求 請求項の数 8 (全4頁)

⑭ 考案の名称 プロジェクションテレビのスクリーン取付装置

⑰ 実 願 昭63-59021

⑱ 出 願 昭63(1988)4月30日

⑲ 考 案 者 柴 村 求 大阪府大阪市淀川区宮原3丁目5番24号 日本電気ホーム
エレクトロニクス株式会社内

⑲ 考 案 者 尾 島 充 彦 大阪府大阪市淀川区宮原3丁目5番24号 日本電気ホーム
エレクトロニクス株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気ホームエレクトロニクス株式会社 大阪府大阪市淀川区宮原3丁目5番24号

⑲ 代 理 人 弁理士 佐伯 忠生

⑮ 実用新案登録請求の範囲

(1) キャビネット前面に取付けられたスクリーンと、その後方のキャビネット後面に取付けられた反射面と、前記キャビネット内部に収納された投射管とを具備し、前記投射管より投射される映像を前記反射面で反射させ、前記スクリーンに写し出すプロジェクションテレビのスクリーン取付装置において、

前記スクリーン端縁を保持する段部を有し、前記キャビネット前面のスクリーン取付位置の四周に組付けられるスクリーン枠と、

中間部長手方向に形成されたヒンジの一方側にスクリーン端縁を受ける受け部を有し、他方側に受け部との間で前記スクリーン端縁を挟持する押え部が前記受け部に対して開閉自在に設けられ、かつ前記受け部との間に前記スクリーン端縁を挟持した際、該挟持状態に係止する係脱可能な係合手段を備えたスクリーン取付部材と、

前記スクリーン端縁を挟持した前記スクリーン取付部材が前記スクリーン枠の段部に設置された際、該取付部材をスクリーンの取付状態に固定する前記スクリーン枠とスクリーン取付部材間に設けられる固定手段とから成ることを特徴としたプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。

(2) 前記スクリーン取付部材が硬質塩化ビニル樹

脂等により押出成形されて形成されたことを特徴とする請求項(1)に記載のプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。

(3) 前記スクリーン取付部材の前記スクリーン端縁が挟持される前記受け部と押え部との内面に弾性突片を突出形成させたことを特徴とする請求項(1)又は(2)に記載のプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。

(4) 弾性突片が軟質塩化ビニル樹脂等で形成されていることを特徴とした請求項(3)に記載のプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。

(5) 前記取付部材に設けた係合手段が、前記受け部と押え部とに係脱可能に形成したフック片であることを特徴とする請求項(1)に記載のプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。

(6) 前記固定手段が、前記スクリーン枠の段部に形成された凹凸部と、この凹凸部と嵌脱可能に前記スクリーン取付部材の受け部に形成された凹凸部とから成ることを特徴とする請求項(1)に記載のプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。

(7) スクリーン枠の段部に形成された凹凸部が溝部とこの溝部によつて形成された突部とから成り、かつ前記受け部に形成された凹凸部が前記溝部と突部に嵌り合う突部と溝部とから成ることを特徴とする請求項(6)に記載のプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。

(8) 前記固定手段が、前記スクリーン枠の段部近傍に形成されたスリットと、前記スクリーン取付部材の基部を通して前記スリットにネジ込まれる取付ネジとから成ることを特徴とするプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。

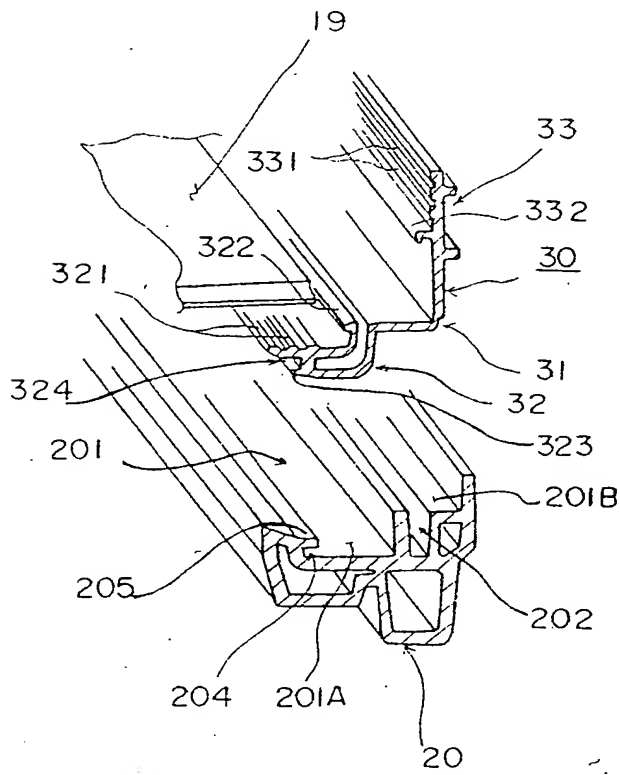
図面の簡単な説明

第1図は本案に係るスクリーン取付装置の要部を示す斜視図、第2図、第3図はその取付け手順・状態を示す部分断面図、第4図は本案取付装置の他の実施例を示す斜視図、第3図、第4図は

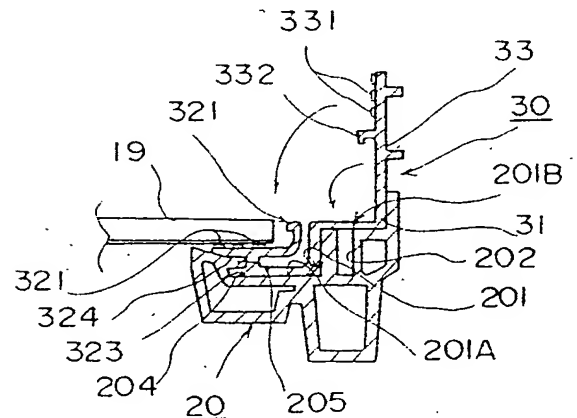
その取付け手順・状態を示す部分断面図、第7図は従来例を示す部分断面図、第8図は本案が適用されるプロジェクションテレビの断面図である。

19…スクリーン、201…段部、10…キャビネット、11…前面、20…スクリーン枠、30…スクリーン取付部材、31…ヒンジ、32…受け部、33…押え部、322, 332…フック片(係合手段)、[204…スリット、205…突起]凹凸部、[323…突起、324…スリット]凹凸部、321, 331…弾性突片。

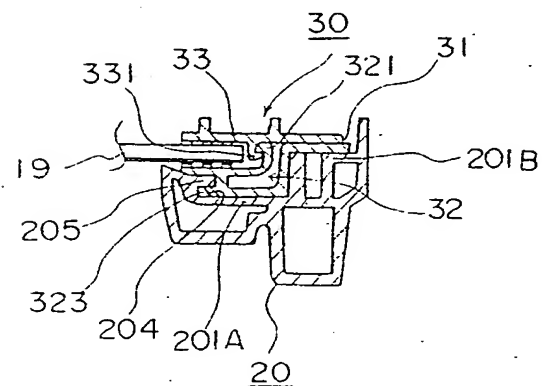
第1図



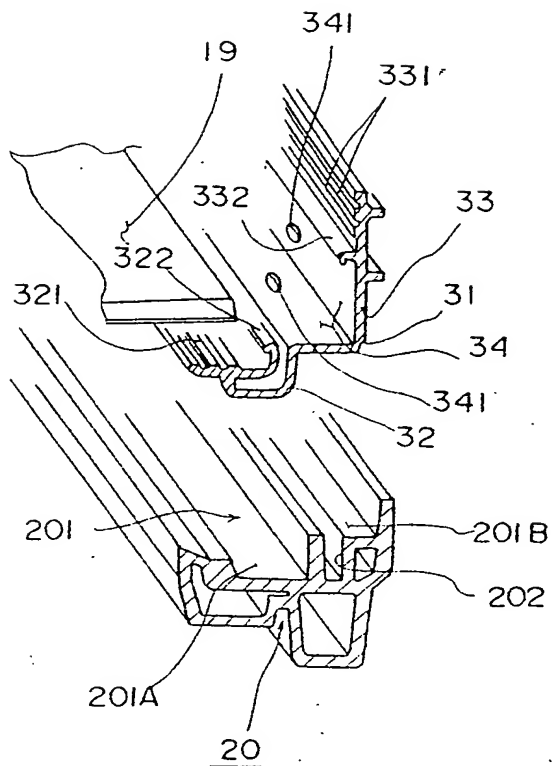
第2図



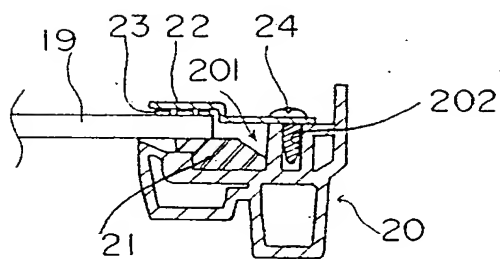
第3図



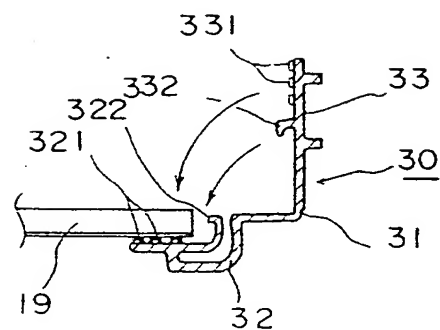
第 4 题



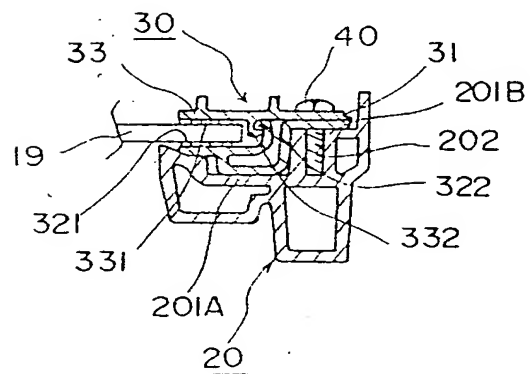
第 7 図



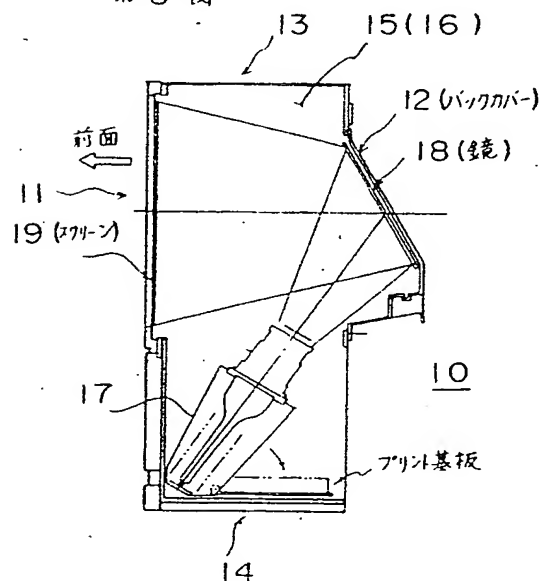
第 5 図



第 6 圖



第 8 圖



補正 昭63. 7. 21

図面の簡単な説明を次のように補正する。

明細書第15頁第18行の「第3図、第4図」を「第5図、第6図」と訂正する。

補正 昭63. 9. 6

実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

⑦実用新案登録請求の範囲

- (1) キャビネット全面に取付けられたスクリーンと、その後方のキャビネット後面に取付けられた反射面と、前記キャビネット内部に収納された投写管とを具備し、前記投写管より投射される映像を前記反射面で反射させ、前記スクリーンに写し出すプロジェクションテレビのスクリーン取付装置において、

前記スクリーン端縁を保持する段部を有し、前記キャビネット全面のスクリーン取付位置の周囲に組付けられるスクリーン枠と、

中間部長手方向に形成されたヒンジの一方側にスクリーン端縁を受ける受け部を有し、他方側に受け部との間で前記スクリーン端縁を挟持する押え部が前記受け部に対して開閉自在に設けられ、かつ前記受け部との間に前記スクリーン端縁を挟持した際、該挟持状態に係止する係脱可能な係合手段を備えたスクリーン取付部材と、

前記スクリーン端縁を挟持した前記スクリーン取付部材が前記スクリーン枠の段部に設置した際、該取付部材をスクリーンの取付状態に固定する前記スクリーン枠とスクリーン取付部材間に設けられる固定手段とから成ることを特徴とするプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。

- (2) 前記スクリーン取付部材が硬質塩化ビニール樹脂等により押出成形されて形成したことを特徴とする請求項(1)に記載のプロジェクションテ

レビのスクリーン取付装置。

- (3) 前記スクリーン取付部材の前記スクリーン端縁が挟持される前記受け部と押え部との対向する内面に弾性突片を突出形成させたことを特徴とする請求項(1)又は(2)に記載のプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。
- (4) 弾性突片が軟質塩化ビニール樹脂等で形成されていることを特徴とした請求項(3)に記載のプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。
- (5) 前記取付部材に設けた係合手段が前記受け部と押え部には係脱可能に形成したフック片であることを特徴とする請求項(1)に記載のプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。
- (6) 前記固定手段が、前記スクリーン枠の段部に形成された凹凸部と、この凹凸部と嵌脱可能に前記スクリーン取付部材の受け部に形成された凹凸部とから成ることを特徴とする請求項(1)に記載のプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。
- (7) スクリーン枠の段部に形成された凹凸部が溝部とこの溝部によつて形成された突部とから成り、かつ前記受け部に形成された凹凸部が前記溝部と突部に嵌り合う突部と溝部とから成り、該凹凸部の嵌合により前記スクリーンがスクリーン枠に固定保持されることを特徴とする請求項(6)に記載のプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。
- (8) 前記固定手段が、前記スクリーン枠の段部近傍に形成されたスリットと、前記スクリーン取付部材の基部を通して前記スリットにネジ込まれる取付ネジとから成ることを特徴とするプロジェクションテレビのスクリーン取付装置。